

# ピースクラブ通信

No.38

発行所 社会福祉法人 ピースクラブ  
〒556-0001 大阪市浪速区大国1丁目1-1  
TEL 06-6664712077  
FAX 06-6664712087  
Eメール peaceclub@2dion.ne.jp  
H・P [http://www.ab-amon-net.jp/peace\\_c/](http://www.ab-amon-net.jp/peace_c/)

## のぶひろ わたし 信裕と私

武内勢津子

信裕がピースクラブに通う様になって11年、早いものです。誕生日に「いくつになっ

た？」と聞くと、「〇才！」と一年に一つずつ歳を重ねて答えていました。三年前から25才になり毎年25才のままです。

していった信裕ですが、今はそれを少しずつ、ひとつひとつ無くしていこうとしている信裕が居ます。

中学生の頃まで服の脱ぎ着、トイレの使い方、お風呂の入り方、と、ゆっくりながらもひとつひとつマスター

うではありません。あの頃の様な「今から獲得していく」というハリの様なものは感じられません。子供が老いていく。自分と同じように…。

中学生の頃に戻りしている様ですが、決してそ

で学園に行ってくれました。37才になった今、自分に自信が無いのか、声が出なく（いえ、声を出さなく）なっています。ですから電話にも出ません。文字と色と矢印を見て、何処からでも一人で地下鉄を乗り継いで帰って来ていたのに、今はとても不安そうで、家とピース間の地下鉄しか乗れない様です。

私、私が40才の頃と今を思い

比べる時、同じ思いで信裕がいます。何処がどのくらいの速さで老いていくのでしょうか。全く見えない近い将来に、同化してホッと分り合える気持ちと、お互いの不安な気持ちが交差し合います。きっと信裕も私の変化に気付いていて、私と同じ気持ちなのかも知れませんね。



みやこじま  
宮古島よりもりもとしゅうじ  
森本秀治

9月17日より宮古島に移り住みました。初めの2日間は工事の都合で中村晋作さんの所に泊めてもらいました。

3日目からは未だ工事中の家に建設会社の計らいも有り住めることが出来ました。ピースクラブのメンバーは僕が来る2日前から来て23日の段取りなどをしてもらっていました。本当にありがたいとございました。

23日はこの家建てて下さった大工さんたちの労を労う物と新築のお祝いを兼ねていました。下里さんと大西さんがお祝いの踊りを

踊ってくれたり、西銘さんはわざわざこの日の為に駆けつけていただき、CDAの岡田社長も来て頂き、豪華なメンバーそろい、またその上に自立生活センターまんだの長位さんと前田さんも宮古でお目にかかって間もな

いとこのに(長位さんとは以前大阪でお目にかかっていたので)来て頂いたりと宮古の人たちの優しさを感じながらみんな飲んで食べて、踊っての楽しい一時でした。

そしてみんなが帰った後は台風17号がお祝いに駆けつけてくれ

大変なことになりました。みんなが帰った翌日ぐらいから風が日増しに強くなってきました。建設会社の専務の西里さんに聞くと大きな台風が来ると言うことでした。でも、雨戸も未だ入っていない

しどうなるのだろうかと思っていると、朝子さんも心配して食べ物を持ってきてくれました。土曜日の昼に台風が来るといって朝に建具屋さんか雨戸をもってきてくれ、飛ばされそうになって取り付けてくれました。金曜日の夜2回ほど、電気が付いたり消えたりしました。この程度ならたい

いたところ、3回目に

消えてその後付かなくなりしました。電気が消えると真つ暗になり50cm先も分からない状態です。大西さんが買ってくれた懐中電灯がこんなに早く役に立つとは思いませんでした。

翌朝、もう電気が来ていたと思うのですが、期待もむなしくまだ電気が来ていませんでした。大阪ではこんな経験はなかったので、だんだん心配になってきました。朝子さんも心配して数回来てくれました。僕が思ったのは、電動車椅子のバッテリーが切れたらどうしようとか携帯は・・・ウオッシュレットが使えない・・・

非常食のご飯はあっても、有るのは電子レンジと電気炊飯器という状態でした。西里さんにいつ頃復旧するか聞くと10年前の時は2週間かかったが今回はそんなにはかからないだろうと言うことだった。それでも1週間ぐらい覚悟しておいた方がよいのか・・・



電気屋でコンバーターを買ってきて車から電気を取ろうかとも考えたが、日曜の昼過ぎには復旧しました。台風の去った後雨戸を開けると窓の外風景が変わっていま

した。それまで木々の葉でうっそうとしていたところが葉っぱや小さい枝が吹き飛んで見通し良くなっていました。それほど凄い台風でした。

## わたし おおにし 私と大西さんの出会い

長谷川利恵

ピースから原稿依頼が……！……！ ええ！……！ 何を書けばいいんだらうって考えて、思いついたのが大西さんとのことでした。でもここでタイムスリップしなければいけないんですよ。うまくタイムスリップできる

でしようか？ さて、大西さんが20代、私は中学生でした。（わあ！若い！）私はその頃、児童施設で生活をしていました。その中の生活は朝6時起床、7時～8時まで朝食、9時から室内にある学校もし

くは機能訓練、お昼は一度戻り検温し昼食で低学年は機能訓練だったり遊んだりでした。高学年は授業でした。3時におやつですが、高学年には当たらないことも。そして4時30分にメチャ早い夕飯。後は8時に消灯。なので成長期にはおなかをすかし、お茶で満腹にしていたこともあるのですが、その後トイレばかり行くはめに。お風呂は週2回。かなり大変な中で成長してたみたい。6歳で親から離れ、両親には年2回ぐらいしか会えず結構寂しくて一人誰もない場所まで泣いていた覚えが……！

大西さんはこの施設の重度の方の職員で来ていまして、私は軽度の方でした。大西さんと知り合ったのは良く覚えてないんですがねえ。大西さんは私にいろんなことを教えてくれました。障害があっても自立して生きていけること。人との関わり方、外に出ると楽しいこと、時にはお酒の味や、夜遊びも。まだ何も知らず何の経験もない私はすごく楽しかったことを覚えて

います。ある夏休み、施設から1週間くらい家に外泊し、家から大西さんの家に数日間お邪魔したことも。大西さんは私の家まで迎えに来てくれたのです。当時、市バスの乗降は階段で私を抱えて乗り込み、車いすは後で積み込むのですが、まだ私たちへの理解がない運転手と言いつい合いをしてくれました。その時の事はスゴイなあのひとこと。そして大西さんの家で「初めてシリーズ」開始。食事の買い物、調理、雑魚寝、夜遊び（オールナイト）後、町の中で、歩きながら食べたソフトクリームは最高においしかったこと。ただビールは苦かったかなあ。なんて思ってる

す。それがきつかけか  
どうかは解らないので  
すが、大西さんは施設  
から去りました。それ  
でも個人的に繋がって  
いました。

それから数年が過ぎ  
私が20代後半、そろそ  
ろ施設は嫌になり自立  
したいと大西さんに相  
談し、自立の練習でき

るところを教えてください  
くれました。すぐ  
実行し半月くらい  
知らない場所でも生  
活をして、確実に  
自立できることを  
確信したのです。  
そこからまた数年  
経って、私が以前  
仕事をしていた職  
場が きじむなあ  
でイベントをする  
ことになり、その

担当でまたまた再会し  
ました。今の私がいる  
ことはきつと大西さん  
がいたからだと思っ  
ています。大西さんの力  
になれたらと今ピース  
に來ているのですが、  
はたして力になって  
いるのやらないのや  
ら。



## 和水の家と命名しました

おおにしやうこ  
大西洋子

〈雨降って地固まる〉そ  
うなって欲しいと心か  
ら思っています。

今回、ほんとうに朝子  
さんにはお世話になり  
ました。私達は宮古  
を行ったり来たりして  
いるだけです。ほと  
んどの細かい配慮か  
ら、人との繋がりを朝  
子さんに頼らざるをえ  
ませんでした。どうい  
う経過で森本氏が住む  
ようになったのか、宮  
古で何をしたいのか。  
そんな話も曖昧なま  
ま、地鎮祭から建つま  
ではあつという間でし  
た。

朝子さんが吉郎君や

弘子さんを預かってく  
れたこと、その間ピー  
スの子を迎えて行った  
り来たりしたことが土  
台になっているのです  
が、地元の人と繋がっ  
たり、今回コンクリー  
ト壁に練り込んだ素材  
のCDAとの調整、設  
計者との打ち合わせ  
にあたふたしていまし  
た。

宮古にのっかてはい  
けないと思ひながら、  
それが身についていな  
いのかもしれません。  
「和水の家」西銘さ  
ん（設計者）が命名し  
てくれました。「以和  
為貴」（和をもって貴

しとなす。）からきてい  
ます。宮古の中で、宮  
古に花吹かす「和水の  
家」になるよう、今か  
ら一歩ずつ律していき  
ます。

春さんからは「人間  
は弱い。癒しとか和み  
とか言っていると、大変  
やぞ。」と注意を受け  
ています。宮古の人  
の知恵と力を借りて、  
宮古の人と共にピース  
の新しい生活の場（工  
場・農園）になればと  
思っています。

朝子さん本当にあり  
がとう。ご苦労様でし  
た。これからこそ、一  
緒にお願いします。  
いっぱい面倒かけると  
思います、ピースと  
宮古をしっかりと繋げて  
いきたいのでよろしく

お願いいたします。一番の  
仲間と思っております。

## ロンドンへ

松原祐輔



ぼくがピースクラブ  
で働かせて頂くように  
なって、はや9ヶ月に  
なりました。時間が過ぎ  
るのを早く感じ、驚い  
ております。ピースク  
ラブの皆様には本当に  
お世話になり、感謝し  
ております。弘子さん  
や聴くんをはじめ、多  
くの方々と楽しく過ご  
せました。ありがとう  
ございました。

6月号に書かせて頂  
いたとおり、今月末も  
しくは11月頭から旅に  
た！

です。とりあえずロ  
ンドンに向かう予定で  
す。どこへ行くか、何  
をするか、ほとんど定  
かでないのですが、「到  
着するのが目的ではな  
い」ということでご勘  
弁願いたいと思いま  
す。

またいずれどこか  
ばったりお会いできた  
時には、面白い土産話  
をたくさんお話できれ  
ばと思います。

お世話になりました！

### ピースクラブのホームページが出来ました

- ・ ピースクラブのホームページがようやく出来ました。
- ・ 下記にアドレスを明記しておきますが打ち込むのが大変だと思いますので検索サイトを利用して下さい。
- ・ いろいろ試しましたが単に「ピースクラブ」と入れても候補が多いので見つかりにくいと思います。
- ・ ヤフーでは、「ネット販売 ピースクラブ」で検索されると比較的見つけやすいと思います。
- ・ ただ、ネット販売のページに飛ぶのでそのページの下にある「ホームへ」をクリックして頂くとピースクラブのトップページに行きます。
- ・ 少しややこしいですが覗いてみて下さい。
- ・ 打ち込みに自信のある方は下記のアドレスを打ち込んで下さい。
- ・ [http://www.ab.auone-net.jp/~peace\\_c/](http://www.ab.auone-net.jp/~peace_c/)

### これらのスケジュール

- 11月11日(日) 13時～  
さっちゃん追悼集会 三角公園
- 12月24日(月曜 祝日)  
さっちゃん音頭CD発売記念パーティー  
ピースクラブ4Fホール





# ●ピースクラブ写真館●

BOMB祭り<sup>まつ</sup>とたこ焼き<sup>や</sup>パーティー



## 編集後記

佐伯利也

ご無沙汰<sup>むさた</sup>しています。私が編集<sup>へんしゅう</sup>後記<sup>こうき</sup>を書くのは2月号<sup>がつごう</sup>以来<sup>いらい</sup>となりました。今回の紙面<sup>しめん</sup>には親御<sup>おやご</sup>さんの声<sup>こゑ</sup>として、初めて武内信裕<sup>たけうちのぶひろ</sup>君<sup>くん</sup>のお

母<sup>おかあ</sup>さんにご協力<sup>きょうりき</sup>頂<sup>いた</sup>きました。お母<sup>おかあ</sup>さんが普段<sup>ふだん</sup>どのような<sup>のよう</sup>に信裕<sup>のぶひろ</sup>君<sup>くん</sup>と接<sup>せつ</sup>して過<sup>す</sup>ごされているかがよくわかりました。なかなか自己<sup>じこ</sup>表現<sup>ひょうげん</sup>が難しい<sup>むずかしい</sup>当事者<sup>たじしや</sup>の事を親御<sup>おやご</sup>さんの声<sup>こゑ</sup>を通して知る事<sup>こと</sup>が仲間<sup>なまか</sup>として大切<sup>たいせつ</sup>だと思<sup>おも</sup>ってます。これから各親御<sup>おやご</sup>さんに原稿<sup>げんこう</sup>をお願い<sup>ねが</sup>いしたいので、ご協力<sup>きょうりき</sup>お願い<sup>ねが</sup>いたします。さて、ピースの変化<sup>へんか</sup>としては森本<sup>もりもと</sup>秀治<sup>ひであき</sup>さんが予定<sup>よてい</sup>通り<sup>どおり</sup>宮古島<sup>みやこじま</sup>に引越<sup>ひっこ</sup>しされました。また、森本<sup>もりもと</sup>亮<sup>りやう</sup>一<sup>いち</sup>さんが復帰<sup>かへり</sup>してくれましたのでお知らせ<sup>しらせ</sup>いたします。最後<sup>さいご</sup>になりましたが、太平<sup>たいへい</sup>の湯<sup>ゆ</sup>の連載<sup>れんざい</sup>記事<sup>きじ</sup>は、その後<sup>のち</sup>の進展<sup>しんぜん</sup>がない為<sup>ため</sup>に休<sup>やす</sup>みます。